

令和2年度第1回蒲郡市総合教育会議 会議録

開催日時	令和2年7月30日（木）午後3時から午後4時まで
開催場所	蒲郡市役所5階 庁議室
出席者	<p>蒲郡市長 鈴木 寿明 蒲郡市教育委員会 教育長 壁谷 幹朗 委育長職務代理者 高田 稔 委員 石渡 篤史 委員 渡辺 充江 委員 水藤 頼利</p> <p>【オブザーバー】 企画部 部長 飯島 伸幸 総務部 部長 平野 敦義 教育委員会事務長 嶋田 丈裕</p> <p>【説明者】 教育委員会庶務課長 柴田 剛広 教育委員会学校教育課長 小澤 良充 教育委員会生涯学習課長 三浦 次七郎 教育委員会スポーツ推進課長 磯貝 友宏</p> <p>【事務局】 企画部次長兼企画政策課長 牧原 英治 企画部企画政策課係長 板倉 一博 企画部企画政策課主事 大森 麻子</p>
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 蒲郡市小中学校規模適正化方針策定の状況について（報告） 2 新型コロナウイルス感染拡大に伴う小中学校の現状と今後（報告） 3 小学校の部活動廃止に伴う今後の対応について（意見交換）
会議資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 蒲郡市小中学校規模適正化方針(仮称)策定スケジュール 2 蒲郡市の未来を拓く教育推進会議 委員名簿 3 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う小中学校の現状と今後 4 練習試合日程表 5 豊橋市教育委員会「のびるん de スクール」について 6 なごや部活動人材バンクについて 7 チラシ「放課後何をする？」 8 放課後文化スポーツクラブ活動事業（案）
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 蒲郡市小中学校規模適正化方針策定の状況について 【説明者：庶務課長】 策定の経緯や現状・スケジュールについて報告した。 【質疑応答】 ・この方針ではどこかの小学校を統合や廃校するといった具体的な案まで考えていくのか。 ⇒議論を進める中でそこまで踏み込んだ意見が出れば、そのような提言をすることになる。（教育委員会） 【委員の主な意見】

- ・保育園のグラウンドデザインの策定も進んでいるところ。学校の統廃合と非常にリンクするので、できれば、ある程度の線が示されると保育園の方向性を考えやすい。
⇒同様のスケジュールで進んでいるので、情報共有をしながら進めていく。(教育委員会)

2 新型コロナウイルス感染拡大に伴う小中学校の現状と今後

【説明者：学校教育課長】

学校現場におけるコロナ対策について報告した。

【質疑応答】

- ・先生たちがタブレットを使った指導をしていくための準備はどのように進められているのか。来年度早々にタブレットを活用した授業を市内全校で積極的にスタートしていけるという状態か。
⇒情報推進部会にて研究を進めており研修の場も設ける。また、子供の発達段階に応じた使い方についても、今年度末までに並行して検討する。子供の発達段階によって順を追って導入していくので、毎時間使うということではないが、積極的に利用していく。(教育委員会)

【委員の主な意見】

- ・学校訪問では多くの制限や制約がある中で、教員の熱心な指導のもとで子供たちが大変頑張っている姿が見受けられた。
- ・部活動は、市内の校長が何度も会議を持って検討し、3年生の部活動を最善の形で区切りがつけられるようになった。試合では生徒だけでなく保護者の姿も見られ、大変喜んでいただけたと思う。
- ・タブレットを使った授業について、何の説明も受けずに使いこなせる子もいれば、全く触ったことがないような子が共存していくことになる。理解度によって分けられると効果的なのではないか。
- ・ICTの導入に関しては、停滞することなく常に新しい物を取り入れていっていただきたい。
- ・教科書が非常に重たいので、ゆくゆくはタブレットで教材が閲覧できるようなになるとよい。
- ・教える側の支援については、NPO法人や地域の方とも連携しながら、教育委員会がリーダーシップを発揮していく必要がある。
- ・指導する側のスピードアップのため、ICTの指導をできる人材も必要だ。

3 小学校の部活動廃止に伴う今後の対応について

【説明者：生涯学習課長・スポーツ推進課長】

豊橋市と名古屋市の事例について紹介し、蒲郡市版の案を提案した。

【質疑応答】

- ・指導員の集め方は、名古屋市の方法を準用していくのか。
⇒今回の提案では、指導者を育成している民間企業に委託をして、企業から指導者を派遣するという形を考えており、名古屋とは少し指導員の集め方が異なる。(教育委員会)
- ・指導者を派遣できる事業者があるのか。

	<p>⇒スポーツから文化まで、指導ができる人材を育成する部門を持っている企業がある。(教育委員会)</p> <p>【委員の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の小学校の部活動廃止に伴って生まれる子供たちの時間を、スポーツや文化活動で目標に向かってトライすること、チームワークを養うこと、思いやりの心を育てることに充てていただきたい。これは重要な教育の一つだと私は考えており、私（市長）から問題提起させていただいたもの。 ・まずはいろいろなものを体験してもらって自分の好きなものを見つけてもらうというのは非常に良い。非常に賛成の意見を持っている。 ・指導者によるところが大きく、小学校によって差ができないようにしていただけるとよい。 ・名古屋市の指導員募集の仕方は魅力的だ。 ・スポーツだけでなく文化的な要素も選択して教えていただけるというのは、本当に素晴らしいプランだと思う。 ・こういう活動でしっかりと基礎体力をつけたり、文化的な学びをしてもらえるといい。 ・eスポーツがこの種目の中に入っている時代的には悪くない。今の時代では将来的な仕事にも繋がっていくという部分もある。 ・地域には潜在的な指導者がいる。そういった方々に子供たちを教育していただいて、地域力も合わせて上げていくというのも、一つの大きい目的になると思う。
--	--